

普及活動情勢報告（令和元年7月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

最盛期に向け一致団結 ～平成30年度みょうが部会総会・目慣らし会を開催～



目慣らし会の様子

JA 高知県津野山みょうが部会の総会および目慣らし会が7月11日に開催され、夫妻での参加も含め25名の生産者が参加しました。

JA 高知県営農販売事業本部からは、出荷規格や今後の販売動向についての説明がありました。

農業改良普及課からは、月に1回全戸で実施している生育調査の結果を報告しました。生産者は普及課職員の説明にうなずきながら、個々の生育状況を真剣に確認していました。

農業改良普及課は、今後ともJAと連携して、津野山地域のミョウガの安定生産に向けて支援します。

おちめん営農組合で水稻講習会を開催 ～水稻の品質アップと営農組合による防除作業委託の募集～



講習会の様子

7月16日、おちめん営農組合が水稻講習会を開催し、組合員16名が参加しました。

農業改良普及課職員、JA職員、農薬メーカーが講師となり、水稻で気をつけたい病害虫、防除のポイントや資材について説明しました。

参加者は、病害虫防除のポイントについて時折うなずいたりするなど、講習会の中で、理解が深まった様子でした。

農業改良普及課は、今回おちめん営農組合が募集した防除作業受託の申込状況に応じて、今後の作業計画の作成などについて支援を行います。

女性農業者スキルアップを目指して！ ～須崎地区 はちきん農業大学が始まりました～



須崎地区講座の様子

6月25日に須崎総合庁舎で第1回須崎地区はちきん農業大学を開催し、農業者4人（うち女性農業者2人）の参加がありました。講座では、大塚製薬株式会社職員による「知っておきたい熱中症対策について」の講義と農業改良普及課職員による「県の農業施策と支援策について」の講義を行いました。参加者からは、「熱中症が気になっていたので勉強になった」、「日常生活で心がけることや熱中症が疑われる場合の処置などわかりやすい講義であった」などの感想が聞かれました。

農業改良普及課では、今後も女性農業者の栽培技術、経営管理能力の向上を目指し、女性農業者の学びの場として講座を開催していきます。

農業の基礎知識を学ぶ ～新規就農者激励会～



講演会の様子

7月18日、道の駅かわうその里すさきでJA土佐くろしお4HC主催の新規就農者激励会が開催され、JA土佐くろしお管内の新規就農者11人のうち6人の参加がありました。

この中で、農業改良普及課が新規就農者、4HC員らを対象に「農業の基礎知識」についての講演を行いました。参加者には、現場で多い計算例や土壌と肥料の基本的な知識等について理解してもらうことができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して新規就農者の育成に向け、取り組んでいきます。

花き日持ち品質管理認証を目指して ～認証要件をチェック！～



チェック項目の一つ

7月9日、農業改良普及課は、管内花き生産者が興味を持っている「花き日持ち品質管理認証」制度のチェックポイントについて、生産者と共に確認を行いました。

生産者は、昨年度から「カイゼン」に取り組み始めたことで、様々な作業工程の見直しを意識するようになり、「カイゼン」と並行して認証取得に取り組む意欲が強くなりました。

現段階では、見直しが必要と思われるチェックポイントが複数あることから、専門家にも相談しながら、取り組むこととしています。

農業改良普及課は、「カイゼン」の取り組みと合わせて花き日持ち品質管理認証の取得へむけた支援を行い、出荷された花きが高品質を維持しながら国内外に流通することを支援していきます。

水やけ症を減らそう！ ～ミョウガ目慣らし会の開催～



目慣らし会の様子

7月10～22日にかけて、JA土佐くろしお管内のミョウガ生産者194名を対象に、目慣らし会が開催されました。

今作はハウス内環境を比較的上手く制御できたため、管内の促成～半促成作型の生育・収穫が順調に進んでいます。

目慣らし会では、作終盤の樹勢低下に合わせて水やけ症が発生しやすくなるため、発症した花蕾の出荷に関する取り扱いについて注意喚起を行うとともに、農業改良普及課からは対策（蒸散の促進、過剰な灌水の防止）について、情報提供を行いました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力してミョウガの安定生産と増収のための支援を行っていきます。